

# 次世代の総合的な交通体系検討会

## 第3回検討会

### 中間まとめの構成案

平成24年12月27日

## 中間まとめの目的

- これまで検討してきた内容を整理するため、中間まとめを行う。
- 鉄道路線における**整備効果の検証**や、将来を見据えた交通（鉄道、バス等端末交通、駅）に関する**課題の整理**、運輸政策審議会第18号答申路線のうち未着手である**路線の必要性**や**事業の採算性**などについて、公表を前提にまとめる。
- 24年度末を目途に作業を進める。

# 中間まとめの構成案

- ▶ 中間まとめでは、次の資料を作成する。
  - ・ **概要版**： A3版1枚程度に要旨を簡潔にまとめる。
  - ・ **本編**： 10～20ページ程度にまとめる。
  - ・ **資料編**： 100ページ程度とする。

## ○概要版の内容(案)

### 1 検討の概要

- ・ 検討の背景、検討会の概要などを簡潔に記載

### 2 対象路線に期待される役割・効果

- ・ 鉄道整備による効果について、検討の結果を簡潔に記載

### 3 需要予測・収支採算性・費用便益比(B/C)試算結果

- ・ 検討対象路線について、試算結果を示す。
- ・ 複数ケースにて試算を行った結果を示す。
- ・ 各路線の駅位置、ルート、運行形態等詳細な条件設定で試算したものではない。

### 4 結果について

- ・ 数値の見方など、結果を伝えるために必要なコメントを記載
- ・ 各路線の評価は加えない。
- ・ 平成25年度の検討内容について記載

本資料は現段階の案であり、今後の検討により変更する場合があります。

# 中間まとめの構成案(本編)

## 1 検討の概要

## 2 横浜市の現状と将来

- (1)人口動態
  - ・夜間人口の推移など
  - ・人口減少と少子高齢社会
- (2)土地利用状況
  - ・市街化区域と調整区域など
  - ・土地利用の現況と将来
- (3)交通をとりまく環境
  - ・H10PT~H20PTの変化
  - ・H22センサス
- (4)財政状況
  - ・18号答申時から現在まで
  - ・今後の見通し

## 3 鉄道の現状と将来

- (1)鉄道整備の変遷
- (2)18号答申
- (3)リニア中央新幹線計画、など

## 4 答申路線の検討

- (1)路線の必要性
  - ①整備済み3路線の検証のまとめ
  - ②鉄道整備の効果
  - ③事業の意義・必要性
    - a高速鉄道3号線の延伸
    - b横浜環状鉄道(仮称)の新設
    - c東海道貨物支線の旅客線化等
- (2)事業の採算性
  - ①事業手法の事例
  - ②需要予測(H42)
- (3)公共事業としての評価
  - ①収支採算性
  - ②費用便益分析(B/Cの算定)
  - ③事業による効果・影響

本資料は現段階の案であり、今後の検討により変更する場合があります。

# 中間まとめの構成案(資料編)

## 1 はじめに

- 1-1 検討の背景と目的
- 1-2 検討項目と検討フロー

## 2 横浜市の現状と将来

- 2-1 横浜市の現況
- 2-2 横浜市に関連する将来計画

## 3 鉄道の現状と将来

- 3-1 鉄道の現況
- 3-2 将来の鉄道計画

## 4 整備済み3路線の検証

- 4-1 検証の目的と項目
- 4-2 上位計画の達成状況
- 4-3 横浜市営地下鉄1号線(戸塚～湘南台)
- 4-4 横浜市営地下鉄4号線(中山～日吉)
- 4-5 みなとみらい線(横浜～元町・中華街)
- 4-6 路線特性を踏まえた整備効果と課題のまとめ

## 5 将来を見据えた交通に関わる課題

- 5-1 課題整理の位置付け
- 5-2 社会全体に関わる課題
- 5-3 鉄道に関わる課題
- 5-4 バス等末端交通に関わる課題
- 5-5 駅に関わる課題

## 6 未着手路線の概要

- 6-1 高速鉄道3号線の延伸
- 6-2 横浜環状鉄道(仮称)
- 6-3 東海道貨物支線の旅客線化等

## 7 未着手路線の検討

- 7-1 需要予測・収支予測の前提条件
- 7-2 高速鉄道3号線の延伸
- 7-3 横浜環状鉄道(仮称)
- 7-4 東海道貨物支線の旅客線化等

## 8 今後の取り組み

本資料は現段階の案であり、今後の検討により変更する場合があります。